

コロナ禍でも台風時には避難行動を！

事前の準備として

- ハザードマップ等を活用し、自宅等の近くの浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を確認し、あらかじめ避難先、避難方法を決めておきましょう。
- 最寄の避難所をはじめ、複数の安全な避難先を決めておきましょう。
- 安全な場所であれば自宅に留まること、親戚や知人の家に避難することも有効です。
- 窓の施錠や雨戸の補強、側溝の掃除、飛ばされやすい物の固定などの備えをしましょう。
- 備蓄品を点検した上で、感染症対策用品を加えた「非常時持ち出し品」を準備しましょう。

避難する時には

- 新型コロナウイルス感染期にあっても台風等から命を守るためには、避難は必要です。躊躇なく早めの避難行動をしましょう。
- 避難所の開設状況を、市町村のHPや防災アプリ等で確認しましょう。
- 避難先での感染防止のため、手指消毒やマスク着用など基本的な対策を徹底しましょう。また、体調が悪い場合には必ず受付の際に申し出ましょう。
- 屋外への避難が危険な時は、建物の2階以上で斜面の反対側など、安全な場所へ移動しましょう。
- 特に悪天候時は、避難途中での増水や地盤の緩みに注意しましょう。



関西広域連合

UNION OF KANSAI GOVERNMENTS